

職員団体との交渉の議事要旨

(開催日時)

平成24年3月26日(月) 16:00~16:50(50分)

(開催場所)

札幌第1合同庁舎15階1・2号会議室

(出席者)

当局側(北海道開発局)

稗田 昭人(開発監理部長)、山崎 弘善(開発監理部次長)、

和田 俊博(職員課長)、高野 亙(職員課長補佐)、水口 弘幸(職員課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合)

藤田 晃久(書記長)、熊倉 輝人(中央執行委員(企画部長))、

久保 賢次(中央執行委員(組織部長))

(議題)

【2012年統一要求関係】

職員の健康安全管理について

(発言概要)

<健康安全管理について>

(職員団体) 保健安全協議会が一方的に廃止されたことについて、非常に遺憾であることを改めて明確にしておく。今後も復活を求めていく。

健康安全管理に対する当局の考え方を聞きたい。

(当局) 健康安全管理に関する職員の意見については、全職員から直接に聴く方法に改めたところであり、今後もこの方法によることとしている。

健康安全管理は、職員が職務を遂行する上で重要な問題であると認識しており、健康安全管理計画に基づき、各種の健康安全教育のほか、定期健康診断等による健康管理、執務環境の点検整備等による安全管理を計画的に推進し、職員の健康の保持増進と安全管理を図っているところである。

<平成24年度北海道開発局健康安全管理計画について>

(職員団体) 平成24年度北海道開発局健康安全管理計画の改善点如何。

(当局) 平成24年度北海道開発局健康安全管理計画においては、①生活習慣病対策(全職員を対象にした血液検査、医療講座の継続実施)、②長時間の超過勤務を行った職員の健康管理(臨時の健診の実施基準の一部を引き下げと統一化)、③公務上等災害の防止(安全管理に関する研究会の開催、保護具に関するガイドラインの作成)、④メンタルヘルス対策(人事院の指針に沿った職場復帰支援対策の検討等)の4点を重点事項として取り組むほか、東日本大震災の被災地域で業務に従事した職員に係る臨時の健康診断及び自操運転職員に係る特別定期健康診断の確実な実施に取り組むこととしている。

<公務上等災害の防止について>

(職員団体) 公務災害の発生状況とその要因如何。また、公務災害ゼロに向けた検討を強く求める。

(当局) 平成23年度の公務上等災害の発生件数は昨年度及び過去5カ年平均と比べ減少傾向にある。また、交通事故を起因とする公務上等災害が多くみられるため、交通安全教育の徹底を図りたいと考えている。このほか、現場作業

に従事する職員等の安全確保を図るため、「安全管理に関する研究会」の継続実施や保護具の取扱いに関するガイドラインの作成などに取り組む予定としている。

なお、再発防止に向けては、公務上等災害発生の都度、イントラネットに被災状況と注意事項を掲載して全職員への注意喚起を行っているところである。

<自操運転について>

(職員団体) 健康安全管理の面からも自操運転には反対である。また、自操運転後に超過勤務を命じられるケースがあり、職員から負担度が高いとの声が多く出ている。対応の検討も必要ではないのか。

(当局) 自操運転については、運転者の健康状態、前日の超過勤務時間、呼気中のアルコール濃度、道路情報、気象情報の確認など、職員の安全確保に十分留意しながら実施していくこととしており、この徹底を引き続き図っていきたい。また、自操運転者に対する交通安全教育の徹底を図っていく考えである。

なお、自操運転後の超過勤務については、対応の要否を含めて取扱いは考えさせてもらう。

<超過勤務に係る臨時の健康診断について>

(職員団体) 超過勤務に係る臨時の健康診断の受診対象者数の状況如何。

(当局) 受診対象者数は、昨年度の7割程度・一昨年度の4割程度へと大きく減少しており、受診率は昨年度より向上している。今後もより一層超過勤務の縮減に努めるとともに、引き続き、受診率の向上に向け、各職場の管理者・職員への指導を徹底していきたい。

<メンタルヘルス対策について>

(職員団体) メンタルヘルス対策は喫緊の課題であることから、予防・復帰それぞれの対策を十分検討・実施するよう強く求める。また、メンタル系疾患による長期病休職者を抱えた職場への管理者の適切な対応を求める。

(当局) メンタルヘルス対策については、カウンセリング制度や精神科医を活用した健康相談を積極的に行うほか、メンタルヘルス教育の実施などを通じて予防に努めるとともに、人事院の指針に沿った職場復帰支援対策を進めていきたいと考えている。また、長期病休職者を抱えた職場の業務が円滑に進むよう、管理者への指導を徹底していきたい。

※文責は北海道開発局当局(今後修正があり得る)